

後期基本計画 令和 2年度 基本施策方針評価書

政 策 : 01 多様なつながりによって市民が行動しているまち

基本施策 : 02 安全で安心できるまちづくり

主管課長職・氏名	防災防犯課長 日向 秀次
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の令和 2年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

近年、大規模な自然災害が全国各地で発生しています。岩手山を有する本市といたしましても、日頃から市民の防災に対する意識及び備えを促すことが求められています。また、本市で、安全で安心に暮らすためにも、防災、防犯及び交通安全などの恒常的な取り組みが必要であることから、市行政や関係機関だけでなく、市民とともに人と人とのつながりによる災害に強いまちづくりや、犯罪と事故のないまちづくりを目指します。

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 災害に強いまちだと感じている人の割合 単位 %以上	49.2	52.1	52.1	52.1	52.1	52.1	B
			55.3	51.3	-	-	-	72.4
2	幸福 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %以上	64.1	65.8	65.8	65.8	65.8	65.8	A
			67.1	66.6	-	-	-	147.1
	単位							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 01020100 災害に強いまちづくりの推進 災害に強いまちだと感じている人の割合 単位 %以上	49.2	52.1	52.1	52.1	52.1	52.1	B
			55.3	51.3	-	-	-	72.4
2	暮らし 01020200 交通事故及び犯罪の減少による安全なまちの構築 交通事故発生件数 単位 件以下	59	71	71	71	71	71	B
			57	65	-	-	-	50.0
	単位							
	単位							
	単位							

後期基本計画 令和 2年度 基本施策方針評価書

政 策：01 多様なつながりによって市民が行動しているまち

基本施策：02 安全で安心できるまちづくり

主管課長職・氏名	防災防犯課長 日向 秀次
関係課長職・氏名	

2. 基本施策の実現に向けての令和 2年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

C	一部達成した
	<ul style="list-style-type: none"> 消防事業では、消防ポンプ自動車の更新(9分団)を行いました。また、第7分団2部消防屯所の屋根外壁等の改修を行いました。 消防演習及び出初式はコロナ禍の影響で実施できませんでした。 防災事業では、地域防災リーダー研修会及び市総合防災訓練を計画しましたが、コロナ禍の影響で実施できませんでした。 防犯交通安全事業では、交通指導員の街頭指導や交通安全教育専門員の交通安全教室及び少年補導員の防犯パトロール等の活動の実施により交通事故及び犯罪の減少に努めました。

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、令和 2年度の重点課題の達成（実現）状況

C	一部達成した
	<ul style="list-style-type: none"> 消防ポンプ自動車の更新(9分団)を行いました。 交通指導員の街頭指導や交通安全教育専門員の交通安全教室及び少年補導員の防犯パトロール等の活動の実施により交通事故及び犯罪の抑制に努め、令和2年度中の死亡事故ゼロ継続と犯罪認知件数が減少しました。

3. 基本施策の実現に向けての令和 2年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
	<p>【外部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 気象変動による各種自然災害の増加 高齢者ドライバーの増加

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
	政策目標の達成のため同一内容の基本施策の実施が必要であり見直しの必要はありません。

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 4年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市自主防災連絡協議会を中心として全部の自主防災組織で市と連携した訓練が実施されるよう取り組みます。 交通指導員の人員確保のため各自治会へ協力をお願いし、あわせて一般公募も行います。 防犯灯や交通安全施設の適正な維持管理を実施します。 消防団員の充足率の向上についての取り組みを行います。 <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防団員の待遇改善、充足率の向上、交通指導員の人員確保 経年劣化の進む防犯灯修繕、木柱の更新、カーブミラーの修繕費の予算確保

